

2025. 11.23 Sun

at Tokyo Metropolitan Theatre
Concert Hall

主催：一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ

後援：ブリティッシュ・カウンシル

助成：  文部科学省

文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））
独立行政法人日本芸術文化振興会



<https://www.tkwo.jp/>



つくる。つつむ。つなぐ。

東京佼成ウインドオーケストラ

伝統から未来への
新たな一歩



Douglas Bostock
Conductor

©Peter Adamic

The Best of
BRITISH

第171回 定期演奏会

英国吹奏楽の祭典

PROGRAM | プログラム

フローリッシュ／R.ヴォーン・ウィリアムズ

Flourish for Wind Band / Ralph Vaughan Williams [約2分]

「ハマスミス」プレリュードとスケルツォ／G.ホルスト

Hammersmith: Prelude and Scherzo / Gustav Theodore Holst [約14分]

ウィリアム・バード組曲／G.ジェイコブ

William Byrd Suite / Gordon Jacob [約19分]

第1曲 オックスフォード伯爵の行進曲

I. The Earle of Oxford's Marche

第2曲 バヴァーナ

II. Pavana

第3曲 ジョン、いまキスして

III. Jhon come kisse me now

第4曲 乙女の歌

IV. The Mayden's Song

第5曲 ウルジーの荒野

V. Wolsey's Wilde

第6曲 鐘

VI. The Bells

休憩 Intermission [20分]

ファイアダンス／G.ウールフェンデン

Firedance / Guy Woolfenden [約10分]

交響曲第3番「カラー・シンフォニー」／P.スパーク

A Colour Symphony: Symphony No.3 / Philip Sparke [約27分]

第1楽章 白

I. White

第2楽章 黄

II. Yellow

第3楽章 青

III. Blue

第4楽章 赤

IV. Red

第5楽章 緑

V. Green

❶ 注意

- 本コンサートは、会場の観客の皆様を撮影する場合があること、および収録された映像がインターネット、DVDなど各種媒体で公開・販売されることを予めご了承ください。
- ホール内での飲食、許可のないビデオ・写真撮影、および携帯電話・スマートフォンでの撮影はご遠慮ください。
- 携帯電話・時計のアラームなど音の出る電子機器は電源をお切りください。
- 演奏中のプログラムをめくる音、お客様同士での会話など音を発する行為は他のお客様のご迷惑となることがありますのでご配慮ください。

本公演に関するアンケートへ
ご協力ください。



PROFILE | 指揮者プロフィール



指揮者

ダグラス・ボストック

Douglas Bostock

Conductor

©Peter Adamic

イギリス出身の指揮者。国際的に高く評価されている南西ドイツ室内管弦楽団の首席指揮者兼芸術監督を2019年から務めている。スイスのアールガウ・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者(2001年～19年)を経て現在は名誉指揮者、スイスのハルウィル・オペラ音楽祭の音楽監督(2003年～18年)の重責を担ってきた。

欧州、米国、日本などで幅広く活躍しており、2000年から10年間にわたり東京佼成ウインドオーケストラの常任指揮者、首席客演指揮者を務め、2005年と2010年に同楽団の欧州公演を成功に導いた。その他、南西ドイツ・フィルハーモニー交響楽団の音楽監督(1979年～1993年)、チェコのカルスバッド交響楽団の音楽監督及び常任指揮者(1991年～98年)、ミュンヘン交響楽団の首席客演指揮者(1999年～2006年)として活躍した。

レコーディング・アーティストとしても知られ、100枚以上のCDをリリースしている。その中には、彼の代表的な録音であるカール・ニールセン、ロベルト・シューマンの交響曲集は国際的に高い評価を得ており、現在進行中の録音プロジェクト「ブリティッシュ・シンフォニック・コレクション」は、世界中の音楽関係者やファンの注目を集めている。

彼は、指揮の指導者としても評価され、日本においては東京藝術大学の指揮・オペラ科の客員教授として同大学との高い信頼関係を築くとともに洗足学園音楽大学においても客員教授として後進の指導に当たっている。

2022年、ダグラス・ボストックは永年にわたる協力関係が評価され、シンガポール軍中央音楽隊の名誉客員指揮者に任命された。さらに2024年には、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラの首席客演指揮者に就任した。

PROGRAM NOTES

曲目解説：中橋愛生 (TKWO楽芸員)

※本文中の「東京佼成ウインドオーケストラ」は「TKWO」と略しました。

レイフ・ヴォーン・ウィリアムズ作曲

フローリッシュ

ヴォーン・ウィリアムズ(1872-1958)は近代イギリスを代表する作曲家の一人。英国王立音楽院で作曲を、ケンブリッジ大学で文学を学んでいる。作曲をチャールズ・スタンフォードなどから学んだ(ホルスト、ジェイコブと同門)ほか、1897年にドイツに渡りベルリンでマックス・ブルッフに、1907年にはパリでモーリス・ラヴェルにも師事している。没するまでに9つの交響曲をはじめ、映画音楽等も含めた実に幅広い分野に作品を提供、絶大な人気を博した。

作風としては吹奏楽曲『トッカータ・マルツィアーレ』のように堅牢な構成を持つ曲がある一方、英国王立音楽院時代からの親友であるホルストと共に民謡の研究を行い、『グリーンスリーブスによる幻想曲』のように古い音楽を素材としたものも多い。吹奏楽の古典とされる『イギリス民謡組曲』等もそうである。その背景にはヴォーン・ウィリアムズの「作曲家はその芸術によってコミュニティの全生活を表現すべきだ」という思想があり、つねに社会との関わりを意識しながら活動していた作曲家とも言えるだろう。

この『フローリッシュ』は、そうした社会との関連から生まれた。当時のイギリスでは左翼の芸術家委員会の主催により「国民のための音楽祭」が行われていた。1939年4月1日にロイヤル・アルバート・ホールで上演された同音楽祭での歴史劇「音楽と国民」の序曲として作曲されたのが、この曲。タイトルは「フラリッシュ」と記されることもあるが壮麗なファンファーレを意味し、同時に国の繁栄なども暗示する。わずか1分半の、開幕を告げるに相応しい印象的な小品。本日の指揮者バストックが2004年にTKWOと開始した録音シリーズ「ザ・ベスト・オブ・ブリティッシュ」でも最初の曲として収録した曲である。

グスターヴ・ホルスト作曲

「ハマースミス」プレリュードとスケルツォ

ホルスト(1874-1934)は、英国王立音楽院で作曲をチャールズ・スタンフォードに師事した。在学中、腕の神経炎のためピアノの代わりにトロンボーンを修めている。卒業後しばらくはトロンボーン奏者として生計を立てていたが、ダリッジ女学校の音楽教師に就任して以来、教育者兼作曲家として活動する。

教育者として非常に優秀で、モーリー・カレッジの音楽部長、レディング大学と英国王立音楽院の教授なども歴任している。作曲家としては東洋思想や占星術にまつわる作品や、周囲の環境および民謡に関する曲を作っているのが特徴的で、代表作である管弦楽組曲『惑星』や、吹奏楽のための2つの『組曲』がよく知られている。

『ハマースミス』というタイトルは、ホルストが1903年から没するまでの長きに渡って教鞭を執ったセントポール女学校があった土地の名前。ホルストは慣れ親しんだこの地の、人々の移ろいやテムズ川の流れを基に作曲した。また、当時人気があった小説「ウォーター・ジブシーズ」の著者がこの地に住んでいたことに親しみを感じ、同書の著者(アラン・パトリック・ハーバード)に曲を献じている。タイトルは「鍛冶屋」と訳されることもあるが、地名の由来はサクソン語で「川が合流する場所」と考えられるため、避けるべきだろう。

曲の成立背景はやや複雑だ。放送局BBCの吹奏楽団から委嘱を受け1930年に完成、翌年におそらく試奏されたが公には演奏されなかった。すぐに管弦楽版が作られそちらが先にエイドリアン・ポール指揮のBBC交響楽団によって初演されている。吹奏楽版は、1932年、ハーバード大学に作曲客員講師として招かれて渡米した折の4月17日にアメリカ吹奏楽指導者協会のコンベンションにおいて、テイラー・ブラントン指揮(当初はホルスト自身の予定だったが病気のため変更)のアメリカ海兵隊バンドによって初演された。

タイトル通り、川をイメージした前奏曲と、人々の様態を描くスケルツォの2部から成るが、スケルツォの途中や終結部には前奏曲の雰囲気も回帰する。曲においては様々な意味での「二面性」が顕著だが、これは「ウォーター・ジブシーズ」の世界観とも共通している。

ゴードン・ジェイコブ作曲

ウィリアム・バード組曲

ジェイコブ(1895-1984)が作曲を志したのは遅く、第一次世界大戦後(1919年頃)から学びはじめ、ダルウィッチ大学と英国王立音楽院でチャールズ・スタンフォードとハーバート・ハウエルズに作曲を師事、1935年に博士号を取得した。スタートこそ遅かったが、その後の活躍は目覚ましく、管弦楽のための2つの交響曲や弦楽のための交響曲、様々な楽器のための協奏曲に映画音楽など、400曲以上の作品を残している。教育者としても優れており、1926年より教鞭を執った英国王立音楽院での門弟にはマルコム・アーノルドなどがある。著作も有名で、特に「管弦楽技法」は日本においては多くの作曲家が参考にする名著である。

ジェイコブには吹奏楽作品が数多い。交響曲や『祝典のための音楽』など大規模なもの、様々な楽器のための協奏曲が多い一方で、(これは吹奏楽作品に限ったことではないが)イギリス生まれの過

去の音楽を素材とした作品も少なくない。同じく民謡に素材を求めたホルスト『組曲第二番』やヴォーン・ウィリアムズ『イギリス民謡組曲』といった同世代の吹奏楽作品を管弦楽へ編曲しているのも特筆すべきことだ。これらはジェイコブの「私はアカデミックは嫌うが、受け継がれゆく伝統には従う」という発言の反映とも考えられる。

『ウィリアム・バード組曲』はジェイコブの初の吹奏楽作品にして、最も演奏されている代表作であり、吹奏楽の古典的名曲として重要な位置付けにあるもの。ジェイコブがまだ学生だった1923年、ルネサンス期のイギリスの作曲家ウィリアム・バード(1543?-1623)が没後300年を迎えたことを記念して、英国王立音楽院の学長より依頼されて作成された。その初版は管弦楽作品で、現在の組曲の第1・2・6曲のみであったが、指揮者エイドリアン・ボルトの依頼によりさらに3曲を追加した上で吹奏楽版が作られることとなった。そのため、事実上の吹奏楽作品と言っても差し支えないだろう。吹奏楽版の初演は1924年5月29日にウェンブリー・スタジアムで開催された大英帝国博覧会関連の演奏会で軍楽隊によって行われている。

曲の素材となっているのは、ヴァージナル(チェンバロの一種)のための『フィッツウィリアム・ヴァージナル曲集』に収められた曲のうち、バード作による6曲。ジェイコブは原曲の旋律・和声・形式・装飾音にほぼ忠実である(拍子の分母が変更されているが)ものの、新たな声部の追加やオクターヴの増減・変更を行うことで音楽的強度を増している。なによりも、原曲は楽器の特性上、音色や強弱の変化に乏しいのであるが、ジェイコブはここに見事なオーケストレーションを施すことによって鮮やかなコントラストを付加することに成功している。この原曲との距離感の絶妙さこそが、ジェイコブの天才性と言えるだろう。

第1曲 オックスフォード伯爵の行進曲

元々のタイトル「戦いの前の行進曲」が、現在はこの題で知られている。オックスフォード伯爵は薔薇戦争などでの数々の武勲を誇る人物で、バードが氏を讃えたと考えられている。

第2曲 バヴァーナ

スペインを発祥とし16世紀のヨーロッパに流行した、ゆったりとした舞曲。

第3曲 ジョン、いまキスして

イタリアを発祥とする歌曲の形式に基づく世俗的な音楽。

第4曲 乙女の歌

「メイデンの歌」と訳されることも多いが、この場合の「メイデン」は「乙女」であろう。17世紀イギリス音楽にしばしば見られるラウンドという輪唱のスタイルを採っている。

第5曲 ウルジーの荒野

「ウルジー」はヘンリー8世時代の政治家であるトマス・ウルジーのことと考えられるため、「ウルジーの愚行」と訳す方が適切かとも思われるが、この訳で知られている。ウルジーは、辣腕を振るった政治家だが、成り上がり者と蔑まれ、外交に失敗したことから評価が低い。

第6曲 鐘

第4曲と同じくラウンドの手法により、鐘の音が鳴り響く。ジェイコブのオーケストレーションの見事さが特に光る終曲となっている。

ガイ・ウールフェンデン作曲

ファイアダンス

ウールフェンデン(1937-2016)も、イギリスの作曲家。音楽一家に生まれ、幼い頃からウェストミンスター寺院聖歌隊学校で聖歌隊員を務めるなどで音楽を学び始めている。15歳の頃からホルンを学び、ケンブリッジ大学クライスト・カレッジを経てギルドホール音楽演劇学校でホルンを専攻していた。大学卒業後の1962年にロイヤル・シェイクスピア・カンパニーに入るとすぐに音楽監督に就任、1998年に退任するまで150作以上もの劇音楽を手掛けている。その一方で映画音楽なども数多く担当、指揮者としても活躍(牧阿佐美バレエ団の指揮をしたこともある)、さらにはBBCラジオの音楽クイズ番組の司会も務めるなど、多方面で活躍し親しまれていた。そんなウールフェンデンは、自身がホルン奏者でもあり、バーミンガム音楽院では吹奏楽団の指揮も担当していたことから吹奏楽にも造詣が深かった。吹奏楽曲も数多く発表、世界吹奏楽大会(WASBE)において世界各国の吹奏楽団が作品を演奏している。

『ファイアダンス』は元々は管弦楽作品で、イングランド中部にあるウォリック城で開催されている花火大会コンサートのために作曲され、2000年7月1日にマーティン・ブラビンズ指揮のフィルハーモニア管弦楽団によって初演されている。この初演を聴いていた聴衆のなかに、バーミンガム・シンフォニック・ウィンズの音楽監督を務めるキース・アレンがいた。アレンは2002年の同団創立10周年記念コンサートでこの曲の吹奏楽版を初演できないかと考え、ウールフェンデンに編曲を委嘱、2002年11月16日に吹奏楽版をウールフェンデン自身の指揮で初演した。バーミンガム・シンフォニック・ウィンズは1992年に創設された吹奏楽団で、アマチュアだが高い志を持って活動しており、これまでにフィリップ・スパークやマーティン・エレビー、ナイジェル・ヘスなど様々な作曲家に新作を委嘱し初演している。WASBEへの出演のほか、2003年にはシカゴで開催されたミッドウェスト・クリニックで『ファイアダンス』を演奏した

ことから、この曲は同団に献呈されている。同団はフレデリック・フェネルの創設したイーストマン・ウィンド・アンサンブルの理念に基づいた活動をしていることもあり、TKWOとの親和性も感じられよう。

『ファイアダンス』は一貫して同じテンポでの変拍子によるリズムが面白い曲で、最初は短調の響きなのがやがて長調の響きに開かれていく。その過程での色彩豊かな楽器法にも注目だ。

フィリップ・スパーク作曲

交響曲第3番「カラー・シンフォニー」

イギリスが生んだ現代吹奏楽の寵児であるスパーク(1951-)は、日本でも『ドラゴンの年』や『宇宙の音楽』などの作品ですっかりお馴染みであり、世界中で吹奏楽作品が演奏されている人気実力派作曲家。意外にも10代の頃に学んだのはヴァイオリンだった。しかし、左利きだったためトランペットに転向、英国王立音楽大学および同ディプロマでは作曲とピアノとともにトランペットを学んだ。作曲の師フィリップ・キャンノンが学内吹奏楽団の指揮者であったこともあって演奏に参加するなどして吹奏楽に関心を持つようになり、名門プラスバンドであるG.U.S.フットウェア・バンドにホルネット奏者として所属するなどもしている。作曲家としてのデビューは大学在学中の1975年にプラスバンドの新作募集に『コンサート・プレリュード』が採用され出版されたことであり、以降は金管バンドや吹奏楽のために多数の作品を提供、サドラー国際吹奏楽作曲賞(1997)、全米吹奏楽指導者協会(NBA)ウィリアム・D・レヴェリ記念作曲賞(2005および2016)など数々の賞を受賞している。TKWOとも関係が深く、委嘱によって『セレブレイション』(1991)が作られたほか、東日本大震災の復興支援のために作られて話題となった『陽はまた昇る』(2011)の続編として作られた『希望の彼方へ』(2012)もまたTKWOの委嘱作品である。

多作家であるスパークではあるが、正式に番号が与えられた交響曲とされる作品はこれまでに3曲しか発表されておらず、それはいずれも吹奏楽のために作られている。なお、その全てで「交響曲第〇番」という表記はサブタイトルに留まっており、『カラー・シンフォニー』も「交響曲第3番」は副題にすぎない、というのが面白い。

『カラー・シンフォニー』はドイツ北部を拠点とするヴェーデル交響吹奏楽団とその指揮者トーマス・ラツェクの委嘱で2014年に作られ同年11月22日にブレーマーハーフェン市立劇場にて初演された。委嘱に際してラツェクからは大規模な編成が提案されており、特殊管やピアノ、ハープ、それにチェロの使用はラツェクの要望によるもの。スパークはその編成から生まれる「色彩」を最大限に活かせる楽想として「交響曲」の形態を採用した。これにより、各楽器の音色が際立つ、さながら「吹奏楽のための協奏曲」のような鮮やかな楽曲が誕生することとなった。スパークは各楽章に「色」を設定し、その印象に基づいた性格を与えている。そこには光のスペクトルが変調すると色彩が変わるように、音色や和音、調性が変化していくことも示唆している。なお、特定の音(調性)に色が結びつく「共感覚」(色調)を

持っている人もいるが、本作はそれとは特に関係が無いとのこと。本作は2016年にNBAウィリアム・D・レヴェリ記念作曲賞を受賞した。

『カラー・シンフォニー』(色彩交響曲)というタイトルからは、スパークと同じイギリスの作曲家アーサー・ブリス(1891-1975)が1922年に発表した同名の作品も想起されよう。スパークは特にブリスについて言及はしておらず、直接的にこの二作に関連は無く、選ばれた「色」と順番はそれぞれ異なる。しかし、「青」が緩徐楽章であること、最終楽章がともに「緑」であること、など、重なるところは少なく無い。現代イギリスの作曲家スパークの作品にも、英国の伝統の香りが感じられよう。

第1楽章 白

Molto lento - Meno mosso - Molto calmo。ゆったりとしたテンポでホルンから開始される清澄な歌が広がり、やがてハ長調(ピアノの白鍵による調)の響きに収斂し、最後はハ長調となって消えてゆく。

第2楽章 黄

Vivo e ritmico。変拍子も交えた軽快なスケルツォ楽章。頻繁に変化する調性や音域は、陽光の変調に重ねられている。

第3楽章 青

Molto lento。金管楽器を欠き、木管楽器・弦楽器・ハープ・ピアノ・打楽器で演奏される。2本のバスクラリネット、コントラアルトクラリネット、コントラバスクラリネットを含むクラリネット群から広がる物憂げ(ブルー)な歌。

第4楽章 赤

Vivace。金管楽器と打楽器のみによる、フーガ的展開もみられるアグレッシヴな楽章。スパークによると「赤は前向きさと楽観の色」。

第5楽章 緑

Molto lento - Molto vivace。スパークによると「緑は自然界の色で、豊かで肥沃、活気に満ちた色」。他の楽章と異なり、原色ではない織り交ぜられた豊かな色彩を基調としているとのこと。スパークが解説に記した最後の一文は「木管楽器の華やかな装飾音の下で金管のファンファーレが響き渡る勝利の終結を迎える」。最後の単語は「flourishes」(フローリッシュ)である。

PROFILE | 楽団プロフィール



©Atsushi Yokota

東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra

1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。

2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する

日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。

2024年4月から大井剛史が第6代常任指揮者、中橋愛生が楽芸員に就任。

桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、特別客演指揮者にトーマス・ザンデルリンク、

首席客演指揮者に飯森範親を擁している。

吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し

高い音楽芸術性を創出し、多くの人が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。

また多くのレコーディング、メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

MEMBERS | 演奏者名簿

桂冠指揮者 ……フレデリック・フェネル

常任指揮者 ……大井剛史

特別客演指揮者 ……トーマス・ザンデルリンク

首席客演指揮者 ……飯森範親

楽芸員 ……中橋愛生

指揮 ……ダグラス・ボストック

演奏 ……東京佼成ウインドオーケストラ

Piccolo ……丸田悠太

Flutes ……飯野尚倫、白石法久

Oboes ……宮村和宏[※]、桜田昌子

English Horn ……梅枝理恵

Bassoons ……福井弘康[※]、南齋侑花

Contra Bassoon ……加藤秀一

Clarinet in E b ……河西拓也

Clarinet in B b ……大浦綾子、林裕子[※]、
野田祐太郎、船橋菜里、岡本昇大、
草野裕輝 (Clarinet in E b)
後藤榛花、近野千昌、渡辺繁弥

Alto Clarinet ……石田勝

Bass Clarinet ……木主里絵、本田有里恵

Contra Bass Clarinet ……原浩介

Alto Saxophones ……林田祐和 (Soprano Saxophone)[※]、
五十嵐健太、竹田歌穂

Tenor Saxophone ……都築惇

Baritone Saxophone ……栃尾克樹

Trumpets ……奥山泰三、ガルシア安藤真美子、
本間千也[※]、河原史弥、
間間健太、池田英三子

Horns ……堀風翔[※]、小助川大河、
小山千鶴、木内真緒、齋藤麻衣

Tenor Trombones ……今村岳志[※]、篠崎唯

Bass Trombone ……大関一成

Euphoniums ……岩黒綾乃、大山智

Tubas ……池田侑太、山岸明彦

Cellos ……寺田達郎、大塚幸穂

Contrabass ……前田芳彰

Timpani ……坂本雄希

Percussion ……和田光世[※]、石川大樹、古賀優、
濱仲陽香、松下真也、山内創一朗

Harp ……安井わかな

Piano ……神原颯大

※演奏委員

コンサートマスター

林田祐和

副コンサートマスター

宮村和宏

インスペクター

栃尾克樹

丸田悠太

今村岳志

企画委員

原浩介

役員

理事長 ……勝川本久

常務理事 ……八反田弘

専務理事 ……堀風翔

監事 ……清水宏一

事務局

事務局長 ……勝川本久

事務局次長 ……堀風翔

事務局補佐 ……八反田弘

制作

篠原華

大橋証太 (ステージマネージャー)

羽田紀子 (ライブラリアン)

広報

尾崎真也

荻沼美帆 (チケットサービス)

賛助会・サポーターズクラブ

荻沼美帆

尾崎真也

佐原由起

営業

森ゆかり

総務

佐原由起

竹内正道

山内真由子 (パーソナルマネージャー)

経理

竹内正道

賛助会員

今後も音楽文化の発展に貢献する活動を行い豊かな社会を実現するため、趣旨にご賛同いただける多くの皆様からの継続的なご支援が必要です。賛助会へのご入会をぜひご検討ください。

年会費	賛助会員	維持会員	特別会員
個人	3,000円／1口	10,000円／1口	100,000円／1口
法人	100,000円／1口	300,000円／1口	1,000,000円／1口



詳細はこちら

※会員期間：会費納入翌月より1年間

お問い合わせ：東京佼成ウインドオーケストラ事務局 賛助会担当 FAX: 03-5341-1255 MAIL: patronage@tkwo.jp

賛助会員の皆さま

五十音順、敬称略で掲載させていただいております。(2025年11月1日現在)

法人会員

特別会員 (株)佼成出版社

維持会員 エーユーツーリスト((株)アコード) 名古屋 宗次ホール

賛助会員	株式会社アシストジャパン 遠藤製作所 遠藤悦治 株式会社CAFUAレコード 建友商工(株) 株式会社全音楽譜出版社 株式会社辰美製作所 フォスターミュージック株式会社 みずほ証券株式会社	アトリエ・エム株式会社 海鮮食堂余市の仲間達 管楽器専門店ダク 鈴木住地(有) 立花産業(株) 中央鉄鋼 有限会社 株式会社プリマ楽器 柳澤管楽器株式会社
------	--	--

個人会員

特別会員	天野 正道 林 總太郎 山内 幸人	加賀美 猛 久末とまこ	田中 淳子 古沢 秀明	林 正作 ミーゴ
------	-------------------------	----------------	----------------	-------------

匿名5名

維持会員：153名 / 賛助会員：84名



SUPPORTERS CLUB

東京佼成ウインドオーケストラ サポーターズクラブ

会員
募集中

東京佼成ウインドオーケストラ(TKWO)を応援したい仲間が集まるファンクラブです。

TKWOをもっと身近で特別な存在に♪

サポーターズクラブへ入会して、一緒にTKWOを盛り上げていきましょう!



詳細はこちら

PR Supporters

PRサポーターの皆さま

敬称略で掲載させていただいております。(2025年11月1日現在)

TKWOのチラシやポスターの設置にご協力いただいている皆さまをご紹介します。

▼店舗等一覧

アルル音楽教室
(株)コマキ楽器 ジャパンパーカッションセンター
ブレーン株式会社 広島本社
ブレーン株式会社 東京支社
(株)管楽器専門店ダク
ミュージックスクール「ダ・カーポ」
(株)セントラル楽器
日本大学芸術学部音楽学科 江古田校舎
管楽器雑貨専門店pitch
ザ クラリネット ショップ
(株)ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京
(株)永江楽器水戸
野中貿易(株)
ヤマハミュージック 横浜みなとみらい
株式会社 池袋音楽学院
株式会社CAFUAレコード
大江戸シンフォニックウインドオーケストラ
ドレミファクトリー
フルート専門店 テオバルト
アトリエ・エム株式会社
イシバシ楽器 横浜店

フォルテ・オクターヴハウス
管楽器専門店ウィンズスタイル
フォスターミュージック株式会社
金管楽器修理調整 浅香工房
葡萄房 by THE CAMEL
吹奏楽酒場「宝島。」
金寿司
フローリスト花六
中華 大栴
おぐセンター
ワイン酒場トンマーズ
小林メディカルファミリー薬局
天ふじ
立花産業株式会社
方南町 共立薬局
御菓子司 大和や

▼個人のお客様

渡邊 直子
樫野 哲也

東京佼成ウインドオーケストラでは
PRサポーターを募集しております。

東京佼成ウインドオーケストラの活動をサポートしていただけませんか？
ポスター・チラシの掲示、チラシを設置していただける店舗・公共施設を募集しております。(個人も含む)ご協力いただける皆さまのご芳名は定期演奏会プログラム・オフィシャルサイトに掲載させていただきます。

Tokyo Kosei Wind Orchestra 2026-27 Season Concert Schedule

定期演奏会
スケジュール

第173回 定期演奏会

2026年 4月29日[水・祝]



指揮 ユベール・スダーン

- 歌劇「サムソンとデリラ」より「バッカナール」/C.サン＝サーンス/大橋晃一 編
- サクソフォン四重奏と吹奏楽のためのコンチェルト・グロッツ [1992年委嘱作品]/J.アンドリーセン
- サクソフォン四重奏 林田祐和、五十嵐健太、松井宏幸、板尾克樹
- バレエ音楽《ダフニスとクロエ》(全曲版)/M.ラヴェル/大橋晃一 編

第174回 定期演奏会

2026年 7月5日[日]



指揮 大井剛史 (常任指揮者)

マスランカ・チクルス Vol.4

- 交響曲第3番/D.マスランカ
- 吹奏楽のための風景詩「陽が昇るとき」/高 昌帥



第175回 定期演奏会

2026年 9月21日[月・祝]



指揮 下野竜也

- 呪文と踊り/J.B.チャンス
- 交響曲第2番/J.B.チャンス
- 巫女の舞/保科洋 ユーフォニウム独奏 岩黒綾乃
- 交響曲第2番/保科洋



第176回 定期演奏会

2026年 11月8日[日]



指揮 大井剛史 (常任指揮者)

マスランカ・チクルス Vol.5

- クワイエット・コール[1991年委嘱作品] /真島俊夫 トロンボーン独奏 今村岳志
- ティンパニ協奏曲 /酒井格 ティンパニ独奏 坂本雄希
- 交響曲第8番/D.マスランカ



第177回 定期演奏会

2027年 1月24日[日]



指揮 飯森範親 (首席客演指揮者)

- 波の見える風景(改訂新版)/真島俊夫
- 脆性ノスタルジア 吹奏楽のための/冷水乃栄流
- 秘儀VI<ヘキサグラム>全曲(吹奏楽版世界初演)/西村朗/中橋愛生 編
- バリのアメリカ人/G.ガーシュウィン/保科洋 編
- 交響曲第2番(日本初演)/K.デイ

第178回 定期演奏会

2027年 2月28日[日]



指揮 大井剛史 (常任指揮者)

- 行進曲「希望に燃えて」/水島敦雄 ● 日本民謡組曲「わらべ唄」/兼田敏
- 冬山に逝ける若者への祈り/岩河三郎
- TKWO委嘱作品[世界初演]/波立裕矢 ● サンシャイン序曲/E.E.パーグレイ
- サンタフェ・サガ/M.ゲールド ● ディシジュアス/V.クオン
- 委嘱作品[世界初演]/D.ビーデンバンダー*

*2025年度パーロウ賞受賞者による新作。委嘱コンソーシアムに参加する各団体が、それぞれ世界初演を行います。

会場/東京芸術劇場 コンサートホール 開演/14:00(開場13:00)

料金(一回券)/ 第173回 S席 ¥7,500 A席 ¥6,000 B席 ¥4,500 C席 ¥3,500 U25 ¥2,500
第174回~178回 S席 ¥6,500 A席 ¥5,000 B席 ¥4,000 C席 ¥3,000 U25 ¥2,500

※当日券は500円増しとなります。(U25を除く)

S席なら1回券より25%お得!

定期会員券

2026-27シーズン定期演奏会全6回を
同じお席でお得にお聴きいただけます!

S席 ¥30,000 A席 ¥24,000 B席 ¥19,000
C席 ¥14,500 U25 ¥12,000

第172回 定期演奏会 今ここから羽ばたく吹奏楽

2026年 1月11日[日] 開演14:00(開場13:00)
東京芸術劇場 コンサートホール

指揮 大井剛史 (常任指揮者) 独奏 宮田 大 (チェロ)



- 曲目 ● よろこびの翼/J.カーナウ
- チェロ協奏曲[TKWO委嘱新作・世界初演]/向井 響
- my butterflies for wind orchestra [2012年デュボール大学音楽学部との共同委嘱作品]/藤倉 大
- 彩をえがく鳥/芳賀 傑
- ピース、ピースと鳥たちは歌う/伊藤康英

S席:¥6,500 A席:¥5,000 B席:¥4,000 C席:¥3,000 U25:¥2,500 ■好評発売中

TKWO 吹奏楽カフェ



定期演奏会に先立ち、大井剛史(常任指揮者)&中橋愛生(楽芸員)が、公演の演奏曲や作曲者にまつわるエピソードなど、通常の楽曲解説とはひと味違う視点から語ります。ここでしか聞くことのできない会場限定の裏話などもございます。今回は、1月11日開催の第172回定期演奏会についてご紹介いたします。

第9回

2025年 12月8日[月] 19:15 開店

管楽器専門店ダク「スペースDo」 最寄駅「新大久保」駅

料金 2,500円(税込) 詳細は公式サイトをご確認ください

共催: 管楽器専門店ダク





東京佼成ウインドオーケストラ 公演情報

2025-2026

ファンタスティック☆クリスマス2025 吹奏楽で聴く人類の宝「第九」

好評
発売中

2025年 **12月19日** [金] 開演19:00 サントリーホール 大ホール

指揮 松井慶太

ソリスト 隠岐彩夏(ソプラノ) 山下牧子(メゾソプラノ)

合唱 東京混声合唱団

笛田博昭(テノール) 加藤宏隆(バス)

曲 目 ● 歌劇「ヘンゼルとグレーテル」序曲／E.フンパーディンク／J.カンツ 編

● 交響曲第9番 ニ短調 作品125「合唱付き」／L.v.ベートーヴェン／保科洋 編

S席ペア(限定100組):¥13,000 S席:¥8,000 A席:¥6,000 B席:¥4,500 U25:¥3,000

吹奏楽名曲コンサートin小山

好評
発売中

2026年 **2月8日** [日] 開演:15:00 小山市立文化センター 大ホール

指揮 大井剛史(常任指揮者)

みんなの「押し曲」コンサート

好評
発売中

2026年 **2月11日** [水・祝] 開演14:00 東京芸術劇場コンサートホール

指揮 大井剛史(常任指揮者)

司会 中橋愛生(楽芸員)

課題曲コンサート2026

2026年 **3月23日** [月] 開演19:00 東京芸術劇場コンサートホール

指揮 大井剛史(常任指揮者)

会員先行発売中 一般発売:2025/11/25(火)



F-SUN
TOURIST

F-SUN ツーリストジャパン

<https://f-sun.jp/domes/>

国内旅行も
海外旅行も
お任せください



〒141-0022 東京都品川区東五反田 4-10-9
シャトレ五反田 2B

TEL:03-5422-7530 FAX:03-5422-7532

info@fsun.co.jp 営業時間 / 9:30 - 17:30

土日祝祭日はお休みをいただきます。

Vincent Bach — The Art of Sound



バック・トランペット
販売開始100周年



本間 千也
AB190GLBSP

奥山 泰三
AB190GL

河原 史弥
180MLJ7SP

TOKYO KOGEI WIND ORCHESTRA

東京佼成ウインドオーケストラ

ガルシア 安藤 真実子
180MLJ7SP

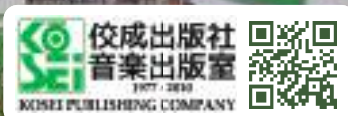
PHOTO by Masamichi DOY

NOVAKA

いい楽器をあなたのもとへ

総代理店 株式会社ノヴァカ 東京都中央区銀座4-10-11 株式会社野中貿易株式会社 231-0211 株式会社中大五郎 4-40 www.novaka.com





KOSEIレーベルを 音楽配信サービスで

iTunes、Apple Music、Spotify、Amazon Music、LINE MUSICを
はじめとする各音楽配信サービスにて1000曲を超える楽曲を好評配信中！
1979年の初リリース以降、ポジティブに、かつ体系的に送り出されたコンテンツは、
質・量ともに他の追従を許さない。世界に類例を見ない吹奏楽曲の数々を配信で！

主な配信サービス



iTunes



Spotify



Amazon Music



LINE MUSIC

LINE MUSIC

株式会社 校成出版社
〒166-8535 東京都杉並区和田2丁目7-1 普門メディアセンター
03-5385-2311(代表)



YAMAHA TUBA DUO

10th ANNIVERSARY CONCERT

TUBA DUO Sérgio Carolino & Shimpei Tsugita

Piano **Rena Hashimoto** / Drums & Percussion **Taro Someya**



セルジオ・カロリーノ



次田心平



橋本礼奈



染谷太郎

OSAKA 2025.12.22 MON
18:30 Open / 19:00 Start

東大阪市文化創造館
ジャトーハーモニー小ホール

〒577-0034 大阪府東大阪市御厨南二丁目3番4号

アクセス▶



TOKYO 2025.12.25 THU
17:30 Open / 18:00 Start

音楽の友ホール

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30

アクセス▶



料金(税込)

【前売券】一般 4,000円 / 学生 2,500円
【当日券】一般 4,500円 / 学生 3,000円

全自由席

◎ JETA会員は500円割引【割引チケットは、オーバス・ワン (info@opus-one.jp、Fax.03-5577-2073) までお申し込みください。】
※ 学生の方は、当日学生証をご提示ください。
※ 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

マネジメント
お問い合わせ

オーバス・ワン
Tel. 03-5577-2072 info@opus-one.jp

後援

日本ユーフォニアム・チューバ協会 (JETA)

主催

株式会社ヤマハミュージックジャパン

チケット取扱い

チケットぴあ

https://t.pia.jp

Pコード [308-714]

チケットぴあはコチラ



イープラス

https://eplus.jp

イープラスはコチラ



株式会社ヤマハミュージックジャパン